株式情報 (2023年3月31日現在)

Stock Information

株式の状況

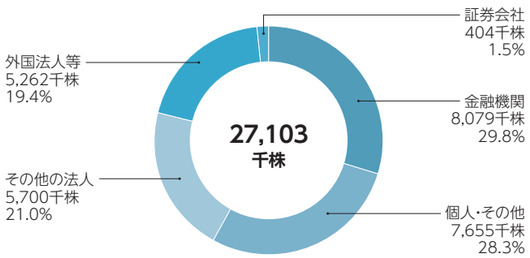
発行可能株式総数 …… 108,000,000株
発行済株式の総数 …… 27,103,291株
株主数 …… 12,445名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,929	11.90
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,542	6.26
関西電力株式会社	1,460	5.93
株式会社三井住友銀行	1,085	4.41
GOVERNMENT OF NORWAY	670	2.72
三井住友信託銀行株式会社	658	2.68
ダイヘン取引先持株会	595	2.42
BNYM AS AGT／CLTS NON TREATY JASDEC	462	1.88
ダイヘングループ社員持株会	452	1.84
岩谷産業株式会社	349	1.42

(注)当社は2,486千株の自己株式を保有しておりますが、持株比率は当該自己株式を控除して計算しております。

所有者別状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 【郵便物送付先】 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 【電話照会先】フリーダイヤル 0120-782-031 受付時間 9：00~17：00(土日休日を除く) 【インターネット ホームページURL】 https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
単元株式数	100 株
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.daihen.co.jp/gaiyou/koukoku.htm
上場取引所	東京、福岡の各証券取引所
証券コード	6622

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様はお取引の証券会社に、証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届けは、上記の電話照会先にお願いいたします。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。
このため、株主様から、お取引のある証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書
- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引のある証券会社までお問い合わせください。

証券会社とお取引がない株主様
次の窓口へお問い合わせください。
三井住友信託銀行　証券代行部
フリーダイヤル 0120-782-031
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

株式会社ダイヘン
〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1番11号
TEL(06)6301-1212(代表)

ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C028818
VEGETABLE OIL INK
UD FONT

株主のみなさまへ

DAIHEN

第159期 報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

証券コード:6622

株式会社ダイヘン

株主のみなさまへ

独創的な製品で社会課題の解決に貢献する「研究開発型企業」を目指してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、ダイヘングループ第159期の報告書をお届けいたします。

代表取締役社長
蓑毛 正一郎

事業の経過及びその成果

当連結会計年度のダイヘングループの業績は、半導体関連投資が総じて堅調に推移したことに加え、生産自動化・EV関連投資が拡大したことから、売上高は1,852億8千8百万円(前期比15.4%増)となりました。利益面におきましては、素材や電子部品等の価格高騰の影響を受けたものの、売上高の増加とコスト削減の成果により、営業利益は165億6千8百万円(前期比23億7千6百万円増)、経常利益は176億6千万円(前期比18億7千万円増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、131億9千3百万円(前期比22億8百万円増)となり、売上高・利益共に過去最高を更新しました。

設備投資の状況

当連結会計年度の設備投資につきましては、半導体製造装置の需要拡大に伴う生産・検査設備の増強関連投資や生産自動化関連投資などに48億7千2百万円実施いたしました。

資金調達の状況

当連結会計年度の資金調達につきましては、経常的な運転資金を金融機関からの短期及び長期借入金にて調達しておりますが、特筆すべき重要な事項はございません。

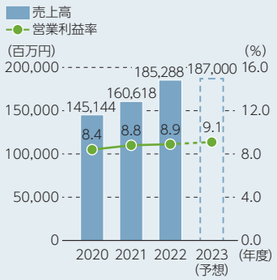
対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、半導体関連市場が調整局面を迎えておりますが、生産自動化やEV・脱炭素関連投資は堅調に推移することが見込まれます。このような状況の下、引き続きコスト削減の取り組みを推進し、社会課題の解決に資する開発投資に重点的に振り向けていくことにより、各事業の強化、業績の向上に努めてまいる所存でございます。

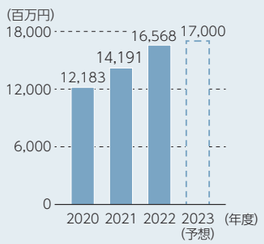
株主の皆様におかれましては、より一層のご理解・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2023年6月

◇売上高・営業利益率

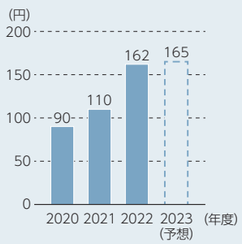


◇営業利益



◇親会社株主に帰属する当期純利益/1株当たり当期純利益

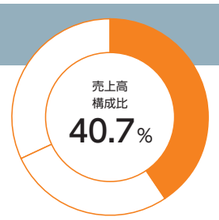
◇1株当たり配当金



セグメント別の状況

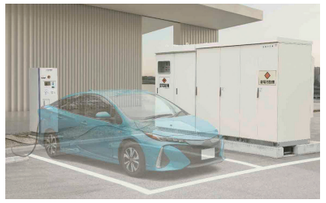
Segments Information

電力機器事業



事業紹介

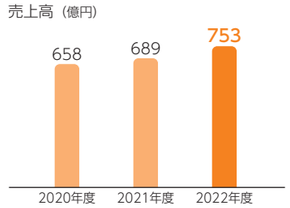
ダイヘンの原点である電力機器。国内で電力の利用が進んだ大正時代、当社は柱上変圧器のメーカとして誕生しました。以来、変圧器のトップメーカとして、信頼性に優れた機器を数多く供給。社会で欠かすことのできない電力の安定供給に大きく貢献してきました。現在では、再生可能エネルギーの活用拡大、EVの普及推進など、脱炭素社会の実現に資する製品・システムの開発に積極的に取り組んでいます。



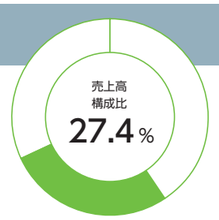
非常用電源システム「V2Xシステム」

営業概況

配電機器の更新投資が堅調に推移したことに加え、脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー関連投資や民間企業での受電設備更新需要の増加により、売上高は753億7千1百万円(前期比9.4%増)となりましたが、素材価格高騰の影響などにより、営業利益は36億6千4百万円(前期比13億1千5百万円減)となりました。



溶接メカトロ事業



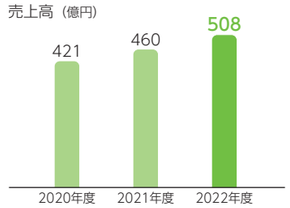
事業紹介

現代のものづくりに不可欠な要素技術の一つである溶接技術。自動車や列車、船舶、更には橋梁や鉄塔などの大型構造物に至るまで、溶接技術が重要な役割を果たしています。ダイヘンは独自の溶接制御技術を駆使し、生産現場のニーズに応える溶接機を提供してきました。また、溶接技術とメカトロニクスの融合を図り、溶接ロボットを開発。世界のトップメーカとして溶接加工の自動化を進めるだけでなく、ハンドリングロボットのラインアップやアプリケーションの充実により、ものづくりに携わる様々な立場の人々の課題解決への貢献を目指しています。

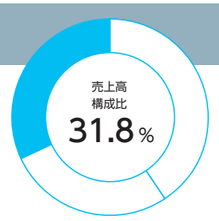
レーザ・アークハイブリッド溶接

営業概況

国内外での生産自動化関連投資の回復やEV関連投資の本格化に伴う需要拡大により、売上高は508億1千万円(前期比10.4%増)となり、営業利益は56億8千6百万円(前期比12億8千2百万円増)となりました。



半導体関連機器事業



事業紹介

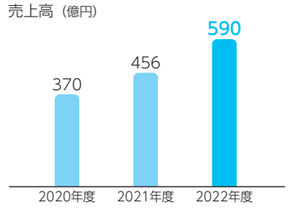
現代の暮らしを豊かに彩るスマートフォンやタブレット機器、大型テレビ。これらの重要部品である半導体デバイスやフラットパネルディスプレイの製造現場で、ダイヘンのプラズマ発生用電源やクリーン搬送ロボットが活躍しています。世界中の工場で、365日24時間フル稼働の生産ラインを実現するため、当社の先進技術が役立っています。

ウエハ搬送ロボット
「ACTRANSシリーズ」

高周波電源
「AVANCERシリーズ」

営業概況

電子部品等の供給不足で生産が制約される中、代替品の採用や設計変更等による部材確保と全社を挙げた増産対応に努めた結果、売上高は589億6千1百万円(前期比29.4%増)となり、営業利益は110億8百万円(前期比22億2千3百万円増)となりました。



その他

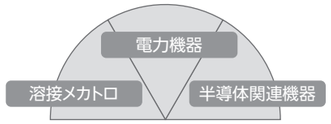
売上高は1億8千万円、営業利益は5千5百万円となり、前期からの大きな変動はありません。

トピックス

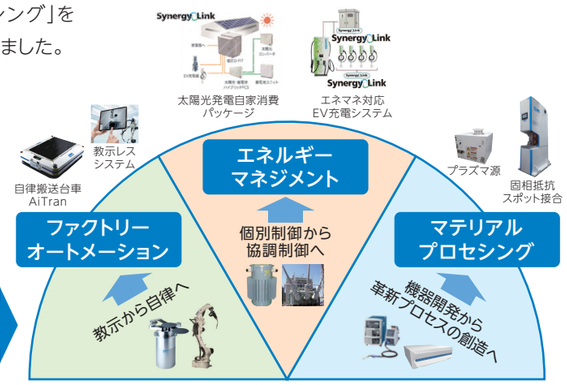
Topics 1 報告セグメントの変更

当社は、社会課題の解決に資する開発型の会社を目指し、2015年度に策定した中期計画において「エネルギーマネジメント」、「ファクトリーオートメーション」、「マテリアルプロセシング」を新たな技術ドメインと定め、それぞれの開発に注力してまいりました。

その結果、脱炭素社会の実現に貢献するEMS製品、労働力不足解消に役立つ生産自動化システム、今後必要とされる多様な金属材料の高精度加工に資する製品群などに事業領域を拡げ一定の成果を出すなど、ステークホルダーの皆様からも認知されてきました。よって報告セグメントを従来の「電力機器事業」、「溶接メカトロ事業」、「半導体関連機器事業」から技術ドメインの名称に一致させることにいたしました。



〈旧ドメイン〉

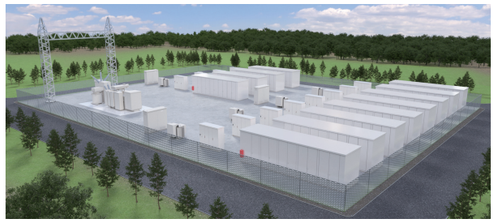


〈新ドメイン〉

Topics 2 「エネルギーマネジメント」分野の取り組み

蓄電池を使用した「系統用蓄電システム」を一括納入

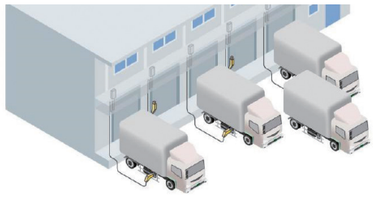
政府が推進する再エネ導入拡大政策に貢献する「蓄電所」向けの「系統用蓄電システム」を国内で初めて納入しました。当社は様々な蓄電池に対応できる強みと、再エネ電力の最大活用や導入・運用時の大幅なコストダウンを実現する当社独自の制御技術「Synergy Link」を活かし、お客様へ最適なソリューションを提供いたします。


系統用蓄電システム(設置イメージ)

国内初の配送用EV向け自動充電システムを販売開始

当社独自の制御技術「Synergy Link」が日々の充電データを分析して電力ピークの発生を抑制する配送用EV向け自動充電システムの販売を開始しました。

充電タイミングの最適化により、充電切れ防止、電気料金最小化、管理業務効率化など運送業界におけるEV運用の課題解決に貢献します。


配送用EV向け自動充電システム(運用イメージ)

国内初の機械式駐車場における自動ワイヤレス充電の運用実証を開始

超小型EV専用の機械式駐車場を製造・販売する㈱技研製作所と共同で、入庫するだけで自動ワイヤレス充電を行う運用実証を開始しました。ケーブルを接続する手間がないため、プラグイン充電と比較し利便性が飛躍的に向上します。今後、最適なシステムへ改良を行い、将来的には普通自動車向け機械式駐車場への展開を図ります。

機械式駐車場でのワイヤレス充電の様子

Topics 3 「ファクトリーオートメーション」分野の取り組み

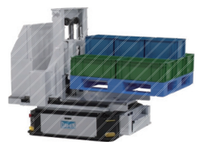
アーク溶接に最適な「協働ロボット」を開発

コンパクトかつ持ち運びが容易で、アーク溶接に最適な「協働ロボット」を開発しました。当社独自の外力検知機能と人が挟まれにくいロボットアーム形状で、人とロボットの協働作業が安全に行えます。コンパクトでありながら、大型構造物など作業エリアの広い現場や精度が必要な加工作業など幅広い溶接シーンにも適用が可能で、即戦力として労働力不足の解消に貢献します。今後は溶接用途以外の品揃えも拡充してまいります。

アーク溶接に最適な協働ロボット

多様な搬送形態に適用できる自律搬送台車「AiTran」を開発

工場内搬送の自動化に貢献する自律搬送台車を開発しました。幅広い搬送物・搬送シーンへの対応に加え、狭い通路での障害を回避しつつ小回りの利く搬送が可能です。業界初となる積載型・けん引型・フォーク型3種類の同時ラインアップにより、さまざまな搬送シーンで活躍します。


AiTran(フォーク型)

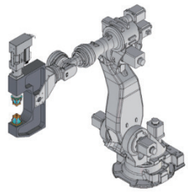
Topics 4 「マテリアルプロセシング」分野の取り組み

世界初の固相抵抗スポット接合システム「Cold Spot Joining」を開発

EVの軽量化に資する超ハイテン材やアルミ合金等の難接合素材を安定的に接合し、かつ省エネ(従来比50%減)を実現する接合システムを世界で初めて開発しました。2023年度には定置式に加え、ロボット用ガンタイプを投入します。

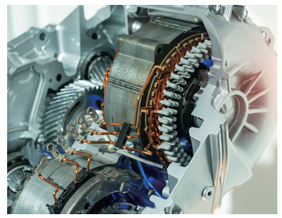
定置式

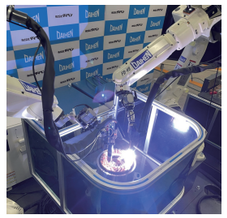
自動車ボディ製造ライン等で幅広く使用されているスポット溶接市場での販売拡大を図ります。


ロボット用ガンタイプ

EVモータステータコイル向け溶接システム「PLASMA JET TIG」を開発

EVモータの主要構成部品「モータステータコイル」の接合に最適な溶接システム「PLASMA JET TIG」を開発し、販売を開始しました。エネルギー密度の高いアークにより銅などの熱伝導性が高い材料でも短時間で高品質な溶接が可能です。レーザ溶接システムより安価でギャップ裕度があるため、自動車・モータメーカ等から高い評価をいただいております。


モータステータコイル


PLASMA JET TIG

Topics 5 「東北電機製造㈱」の株式取得について

当社は、2023年10月2日に東北電力㈱および㈱日立製作所の合弁会社である東北電機製造㈱の株式を70%取得し、グループ会社といたします。当社グループとのシナジーにより生産体制の強化を図るとともに東北地方の電力供給事業に貢献してまいります。

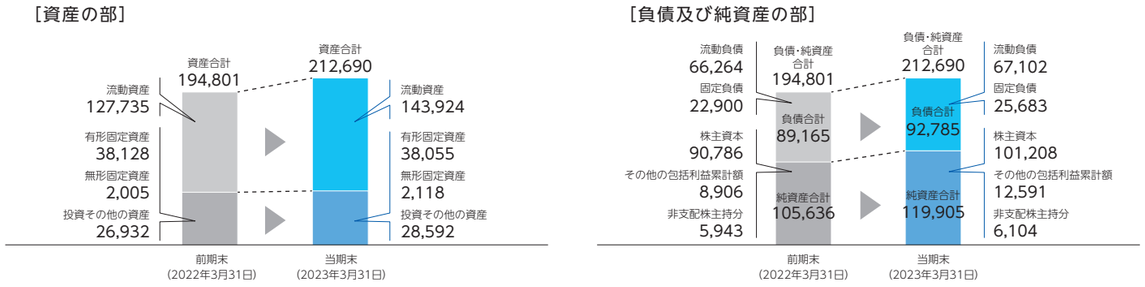
■東北電機製造(株)の概要

創　　立	1958年(昭和33年)4月
本社所在地	宮城県多賀城市宮内二丁目2番1号
資　本　金	1億8,000万円
主 な 株 主	東北電力㈱(50.0%)、㈱日立製作所(49.0%)
代　表　者	取締役社長　千葉 正宏
従 業 員 数	285名(2023年3月末時点)
売　上　高	83億円(2022年度)
事 業 内 容	配電用変圧器・配電盤などの製造・修理、販売、据付工事

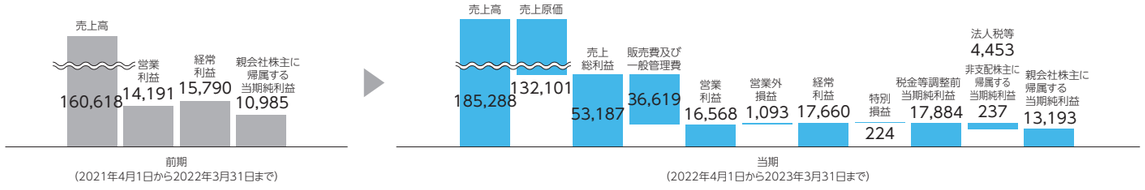
連結財務データ

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結損益計算書の概要 (百万円)

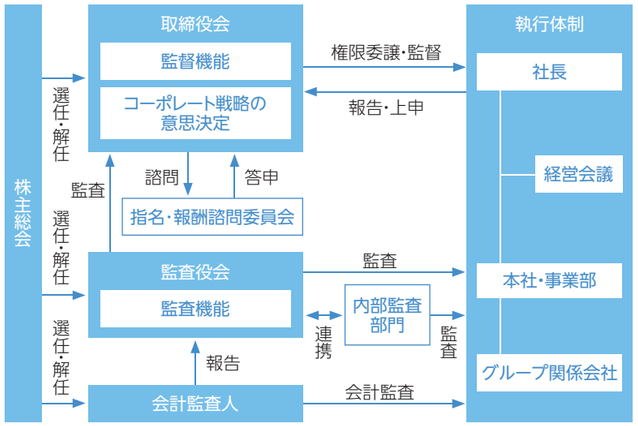


連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)

Column

ダイヘングループのコーポレートガバナンス体制

ダイヘングループは、経営理念である「信頼と創造」に基づき、ダイヘンならではの価値を備えた製品・サービスの創造によりお客様のお役に立つことをはじめとして、全てのステークホルダーの期待に応え、信頼を得ることが持続的発展と中長期的な企業価値向上につながるものと考えております。その実現に向け、実効性のあるコーポレート・ガバナンス体制の構築・強化を図ることを経営の重要課題と位置付けております。



会社概要 (2023年3月31日現在)

Corporate Data

会社概要

商号	株式会社ダイヘン (英文名)DAIHEN Corporation
設立	大正8年(1919年)12月1日
資本金	10,596百万円
従業員数	3,732名(連結)
本社	〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1番11号 TEL(06)6301-1212(代表)
事業所・工場	十三事業所(大阪市淀川区)、六甲事業所(神戸市東灘区)、三重事業所(三重県多気町)、兼平工場(大阪市福島区)、千歳工場(北海道千歳市)
営業拠点	北海道支社、東北支社、東京支社、中部支社、中国支社、九州支社

役員 (2023年6月28日現在)

代表取締役会長	田尻 哲也
代表取締役社長	蓑毛 正一郎
取締役 専務執行役員	加茂 和夫
取締役 専務執行役員	森本 慶樹
取締役 専務執行役員	木村 治久
取締役 常務執行役員	和田 信吾
取締役 常務執行役員	金子 健太郎
取締役	安藤 圭一
取締役	馬越 恵美子
取締役	藤原 康文
常勤監査役	東海 一郎
常勤監査役	高橋 圭太郎
監査役	浦田 治男
監査役	吉田 正史
監査役	注連 浩行

関係会社 (2023年6月28日現在)

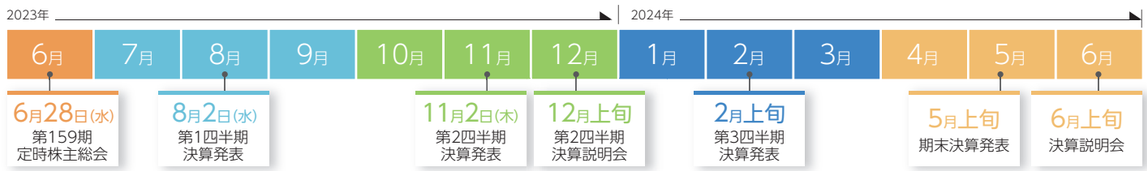
国内

四変テック株式会社
株式会社キューヘン
中国電機製造株式会社
ダイヘン産業機器株式会社
ダイヘン青森株式会社
ダイヘンスタッド株式会社
ダイヘン電設機器株式会社
株式会社南電器製作所
ダイヘンテック株式会社
阪神溶接機材株式会社
ダイホク工業株式会社
ダイヘンビジネスサービス株式会社
株式会社ダイキ
ダイヘンエンジニアリング株式会社
株式会社ダイヘン厚生事業団
大一精工株式会社

海外

DAIHEN,Inc.
OTC DAIHEN EUROPE GmbH
OTC DAIHEN Asia Co.,Ltd.
DAIHEN ELECTRIC Co.,Ltd.
OTC DAIHEN Bangkok Co.,Ltd.
DAIHEN Advanced Component,Inc.
牡丹江OTC溶接機有限会社
台湾OTC有限会社
OTC機電(上海)有限会社
DAIHEN KOREA Co.,Ltd.
OTC機電(青島)有限会社
ダイヘンOTC機電(北京)有限会社
ダイヘン精密機械(常熟)有限会社
OTC DAIHEN INDIA Pvt. Ltd.
PT.OTC DAIHEN INDONESIA
DAIHEN VARSTROJ welding cutting and robotics d.d.
DAIHEN MEXICO S.A. de C.V.
LASOtech Systems GmbH
Femitec GmbH

IRカレンダー



ホームページ案内

IR・決算情報はホームページで公開しています。

●トップページ https://www.daihen.co.jp/

●IRページ
https://www.daihen.co.jp/ir/

株式会社ダイヘンYouTubeアカウント

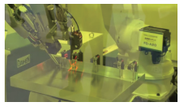
ダイヘンの新製品・新技術などをご紹介しています。

https://www.youtube.com/c/daihenjpn

●会社紹介

https://www.youtube.com/watch?v=VpceqOSedIg

●2022国際ロボット展レーザ・アークハイブリッドコーナ実演動画



https://www.youtube.com/watch?v=NhfrWwjva8o